

国立山口徳地青少年自然の家

子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業・子どもの読書活動推進事業

「絵本の世界で子どものやる気がぐんぐんのびる！」

平成27年11月28日(土) ~ 11月29日(日)

【ねらい】 「子どもゆめ基金」の趣旨にある「子どもの体験活動等の振興を図る活動を提供する」ことを踏まえ、主として幼児から小学校4年生までを対象に、絵本作家によるお話やお絵かき教室、星を見る会、クラフトや森歩き、ポップコーンづくり等、本所の様々なプログラムの体験や宿泊を通して、参加者同士の交流を図るとともに、子どもたちが夢を現実にする生き方を学ぶ場とする。

【講師】 (絵本) 本田哲也さん(画家 絵本作家)
 (星を見る会) 原田ミキ子さん、國廣慎二さん(天体観察外部講師)
 (森歩き) 松本和也さん、岸本由香里さん&森の案内人



本田さんによるお話とお絵かき教室

11月28日(土)、29日(日)

北海道に住む馬やウサギ、キツネなどの生活の様子を、写真を交えてお話しいただきました。
 またお絵かき教室では、実際に絵を描いていただきました。画用紙にサーッと色を塗り進め、あっという間にかわいい動物が描きあがり、子供たちが歓声をあげていました。



本田哲也氏

北海道在住の画家で絵本作家。北海道の自然や野生動物をテーマに多くの作品を送り出しています。ご自身の原画を車に乗せて、北海道から山口・九州まで、毎年日本各地をまわっておられます。作品に「どさんこうまのふゆ」「おかあさんになったノラ」など多数



松ぼっくりのツリーづくり

11月28日(土)



星のおはなし

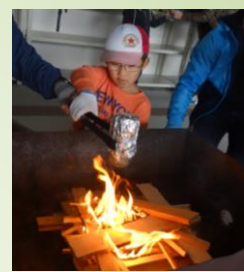


松ぼっくりを段々に重ねます。ホットボンドを使ってくっつけていきます。初めてのホットボンドはちょっと難しそう。ツリーの形ができたなら、カラースプレーで色をつけます。
 星の観察はあいにくの曇り空のため、室内で星のおはなしを聞きました。星座の話に耳を傾けています。

ポップコーンづくり&森あるき

11月29日(日)

空き缶を使ってポップコーンを作りました。油とコーンを入れてしばらくあぶると、缶の中で「ボン！ボン！」とはじける様子がわかります。できたてのポップコーンはアツアツでおいしいー！
 森の案内人の方と一緒に、森のお散歩にも出かけました。虫めがねで何を見つけたかな？



【参加者の声】

- 実際に絵を描くところを見せていただいて、子供達が目を輝かせていました。
- こんなに簡単にポップコーンができるとは思いませんでした。家でもやってみようと思います。
- 森を歩くこと、話を聞くことが、とても楽しかった。森の案内人さんがやさしく話しかけてくださって、体も心もほぐれました。

【成果】

- 絵本作家による自身の作品に対する思いを聞いたり絵を描く様子を見たりして、絵本や絵を描くことの楽しさを実感することができた。また、様々な体験を通して、発見の喜び、作り上げることの達成感を味わうことができた。

【課題】

- プログラムの構成と参加者への周知。

【今後の展望】

- 絵本のおはなしの世界と体験をさらにつなげていくこと。